

## 診療報酬改定研究会のご案内

**【医科】** 日 時 3月23日(水) 14時～16時  
会 場 尼崎商工会議所 701 会議室

**【歯科】** 日 時 3月21日(月.祝) 14時～16時  
会 場 都ホテルニューアルカイク 3階「鳳凰」

※案内ハガキは3月1日に発送します。

支部会員の先生方へ

未入会のお知り合いの先生、  
ご子弟に入会を是非おすすめください

保険医協会は県下で7,200人以上の医師・歯科医師が入会し、開業医が安心して診療に打ち込めるよう支えあう、開業医自身がつくる団体です。医学の進歩と医療技術の向上、変化する医療制度への対応、怪我や病気など万が一の時の備えなど、開業医の診療、経営、生活を全面的にサポートします。勤務医の先生も県下で1,500人を超える先生方にご利用いただいております。

協会未入会のお知り合いの先生、ご子弟に是非、入会をおすすめください。



「サポート力」  
いちばん身近に  
いちばん親身に

### 第505回幹事会だより

1月22日(金) 於 武庫之荘「ビストロ モナミ」

- 尼崎支部の会員数  
1/21 現在 医科 378人、歯科 152人
- 医療をめぐる情勢と運動対策  
当面の支部企画、医療情勢などについて意見交換した。
- 次回の幹事会  
2月19日に「奄美富士」にて開催。

兵庫県保険医協会

## 尼崎支部ニュース

374号

2016年2月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック  
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

尼崎社保協

## 尼崎市との意見交換会を実施



国保の広域化、子ども医療費などについて2時間にわたって懇談

県社保協の自治体キャラバンの一環として、尼崎社会保障推進協議会(会長八木秀満支部長)が、2月2日に尼崎市と意見交換会を実施し、尼崎社保協から16人、市から担当課長など21人が参加した。尼崎社保協から事前に63項目にわたる社会保障施策の要請書を提出し、その中から国保の広域化、新総合事業など介護保険、子ども医療費や中学校給食など子育て支援、アスベストの試行調査など10項目に絞り意見交換を行った。内容について一部紹介する。

社保協から高い国民健康保険料の引き下げを求め、広域化になっても現状の一般会計からの6億円の繰り入れを継続するよう要求した。市は、広域化では国・県の財源が確定すれば市の負担額がきまるので現状では分からないが、今後検討すること。将来の尼崎のために、搾り取る施策だけでなく免除制度なども検討し、広域化に向けた検討委員会などで情報公開するべきと要望した。(2面につづく)

(1面のつづき)

新総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)については、2月から全事業所に向けて原案についてアンケートを実施し、3月下旬に通所介護、訪問介護事業所にわかれ意見交換会を行い、夏から秋には事業内容を発表しパブリックコメントを実施するとのこと。利用者向けには、利用の目的や効果、地域活動への参加、希望するサービス内容などについて700名を抽出しアンケートを行うとした。サービスの設計について、現行を維持してほしいと要望したが、考え方すら示されなかった。「総合事業になると自治体の予算上限もあり現行通りだと予算を超える。軽度の方には単価を落とし、新たな参画も得ながらサービスを整備する」とし、現行通りにはならないと強調した。

また、子育て支援では、中学校卒業までの医療費の無料化と中学校給食の早期実現を要望。中学校給食については、H29年までの小中学校空調整備が終わり次第すみやかに設計にかかりたいと報告した。17校の給食室設置は困難としながらも、センター方式の問題点を示すと、近隣小学校との親子方式など検討していくとした。

人口の転出入について、30代で子どもを持つ世帯の転出が顕著だが、20代では転入が多いとし、教育や治安・マナーの改善でのイメージアップづくりのみを強調したことに対して、社保協から「西宮は教育環境の良さもあるが、中学校給食の整備や中学卒業までの医療費助成の実績がある。若い子育て世代がどこで生活するのは重要。今は市の財政も苦しいかもしれないが、将来を見据えて検討してほしい」と訴えた。

アスベスト公害の問題では、小田南中学校卒業生からこの1年だけでも多くの相談事例が寄せられ、小田地域の肺がんの発症が全国平均の50倍以上になっていることから、尼崎市としてクボタ周辺の小中学校卒業生に健診をすすめてほしいと要望した。市の担当者は卒業生とはいえ個人情報問題もあり難しいとしたが、「個人の人権を守るための個人情報保護法が、命を守れないのはおかしい。個人情報をたてにするのは怠慢である」と厳しく抗議した。

## 支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せ下さい。



TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802 e-mail naga@doc-net.or.jp 担当; 長澤まで

## 大阪高裁アスベスト労災型裁判

# 生命と健康を守る公正な判決を



報告集会には90人を超える支援者が駆け付けた

国とクボタの加害責任を問う労災型の尼崎アスベスト訴訟は、2月15日大阪高裁で結審した。

この裁判は、溶接工と、クボタ旧神崎工場にアスベストを搬入していたトラック運転手がアスベスト曝露が原因で肺がん罹患して亡くなったことについて、規制を怠った国、安全配慮義務を怠ったクボタに対して、遺族が賠償を求めているもの。協会尼崎支部もこの裁判を支援する「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」に加盟し、協力している。

弁護団は最終弁論で、関西建設アスベスト訴訟京都判決(2016年1月)が国の責任に加えて、初めて建材メーカーの責任を認めたことについて触れ、「アスベスト被害は国やアスベスト関連企業の責任があることが明らかになった。尼崎訴訟でも問われているのは、生命と健康よりも経済活動を優先させる国とクボタの責任だ」と述べ、詰めかけた90人を超える傍聴者の胸をうった。

裁判は5月26日に判決日を迎える。尼崎支部では、公平・公正な判決を求める署名に取り組んでいる。ご協力いただける先生は、協会事務局までご連絡下さい。電話 078-393-1809 石本まで。